課題1チェックガイド

※注意点

「プログラム」の項目がすべて満たされていた場合,課題1を合格とします. 合格とならなかった場合,学習者は再度提出しますので,忘れずにご確認ください.また,サンプルプログラムを提示していますが.必ずこの通りになっている必要はありません.

● プログラム

✓ 和・差・積・商の順番で答えが表示されているか

出力結果を確認して、和 \rightarrow 差 \rightarrow 積 \rightarrow 商の順に答えが表示されるかを確認してください。

✓ 数値は入力できるようになっているか

出力結果を確認して、2つの数値が入力できるようになっているか確認してください.この問題は、入出力と変数の扱いを理解することも目的として提示しています.そのため、最初から数値が格納されている場合は間違いとしてください.

✓ 出力された答えは正しいか

入力された数値の計算結果が正しく表示されているかを確認してください.

✓ 変数は正しく使えているか

上述しましたが、この問題は変数の扱いを理解することも目的として提示しています。そのため、変数を使って計算を行っているか確認してください。

✓ 必要のない処理は行っていないか

課題1は分岐処理や反復処理を使わなくても完成させることができます. そのため, 出力結果が正しくてもこれらのブロックを使っている場合は間違いとしてください. その他, 正しい出力結果を表示するために必要なブロック以外がある場合は間違いとしてください

● 作業履歴

✓ 学習者の履歴を確認したか

学習者の履歴に一度は目を通してください. スキップしたものを確認するだけでも構いません. それらを見て, 学習者がどのように課題に取り組んだか, 課題で躓いていたか, どこで躓いたのかが分かってくると思います.

✓ 学習者に対して適切なコメントができているか

何かしらのコメントを必ず学習者にしてあげてください.「合格です」といった簡単なコメントでも構いません.ただし、間違っている学習者に対しては何が

間違っているのか、どのように解決するのかを教えてあげてください. その際、最初から答えを直接教えるのはやめましょう. また、同じ間違いを繰り返している学習者に対して同じコメントを繰り返したりはしていませんか. 同じ間違いを繰り返している場合は少しずつ補足するなどして、学習者を助けてあげてください.

● 総合

✓ チェック漏れはないか

確認した結果を正確に伝えるようにしましょう.情報課題は「プログラム」の 項目がすべて満たされている場合のみ合格としていますが、不合格だからと言っ てチェックを全く付けずに終了するのはやめてください.